

第7期

中間事業報告書

平成20年1月1日から平成20年6月30日まで

株式会社トーア紡コーポレーション

ごあいさつ

株主の皆様には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当社グループ（平成20年1月1日から平成20年6月30日まで）の事業の概要を次のとおりご報告申し上げます。

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、サブプライムローン問題に端を発したアメリカ経済の影響を受け、減速傾向となっております。また、原燃料価格の高騰により企業収益を圧迫する状態が続いており、景気の先行き不透明感を強める状況が続いております。

このような経営環境のもと、当社グループでは中期的な経営戦略に基づき、経営基盤の強化を図っております。繊維事業では、環境配慮型商品の開発や提案を行うとともに、中国での業容拡大を図っております。非繊維事業では、生産基盤の拡充に向け、国内外への投資を進めております。

この結果、当中間連結会計期間の売上高は11,187百万円（前年同期比2.1%増）となり、経常利益は365百万円（同15.0%増）、当中間純利益は389百万円（同36.2%増）となりました。

当社グループでは、繊維事業・非繊維事業を両輪にグループ

代表取締役社長

谷 賀 寿 則



全体の更なる企業価値の向上に努めることが最大の経営課題と考えています。

事業展開としては、衣料事業分野・インテリア産業資材事業分野においては「質の成長」を目指します。国内外においてこれまで積み上げてきたインフラと技術の優位性を維持し、差別化された製品を提供することにより、収益の維持・向上を図ります。

一方、非繊維事業分野においては「量の成長」を目指します。事業の M&A を含めた積極的な投資を推進していく所存であります。

そして「企業の果たす社会的責任」の一環として、「人」・「暮らし」・「環境」の心地よい調和を求めてまいります。

また、法令遵守や危機管理を一層徹底するため、「トーア紡グループ企業行動憲章」の更なる定着と実践を推進するとともに、より実効性のある内部統制システムの整備に取り組んでまいります。

株主の皆様には、今後ともなお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成 20 年 9 月

営業の概況

当社グループにおける各事業の概況は次のとおりであります。

衣料事業

当期羊毛相場の高騰は昨年末より緩和の方向に向かいましたが、干ばつによる産毛量の減少、さらに、豪州ドル高によって羊毛原料は高値で推移しました。

毛糸部門は、原料高によるコストアップのため、国内の定番糸の販売量は減少しました。カラーストック糸は、新色の投入により販売量が増えました。また、中国、韓国、香港などへの輸出も順調に伸びました。その結果、毛糸全体としては増収となりました。

ユニフォーム部門は、原材料と加工費の上昇基調が続く厳しい状況でした。学校向けは少子化と制服のモデルチェンジ校減少の中、素材開発で健康・環境・快適・安全をキーワードとした多機能・高品質の素材で、積極的な企画開発提案型営業を展開しました。企業向けは、メンズ・レディースのファッションを取り入れた高感度な素材による迅速な対応で営業展開しました。しかしながら、景気の後退感、大口需要の減少から減収となりました。

メンズ部門は、国内では環境に配慮した「オーガニックウール」、「シルクウール」などの高付加価値商品、中国では超撥水・撥油加工「ナノペル」、クールビズ対応素材「エスタージュ」などの開発素材の生産・販売に注力しました。その結果、増収となりました。

レディース部門は、ウール需要の減少によるミセスゾーンの落ち込みと、対米輸出の不振により、減収となりました。

この結果、衣料事業全体としましては、売上高4,872百万円（同1.5%増）となりました。

インテリア産業資材事業

全般に石油化学品を原料とする商品展開のため、原油価格高騰の影響から、収益面で苦戦を強いられました。

インテリアカーペット部門は、OEMおよびピースマット

販売を中心として、顧客のニーズにあった開発を充実させ、得意先の主力商品とすることが出来ました。また、開発段階での原材料メーカーとのタイアップで、価格高騰の影響を軽減することが出来ました。インテリア用ニードルパンチは、堅調に推移することが出来ました。

産業資材部門は、自動車内装材分野においては、好調であった対米向け車種の現地調達化が進み輸出が減少したことで、大きな影響を受けました。産業資材分野においては、公共事業の削減による土木関連商品の需要が減り、減収となりました。

ファイバー部門は、原着ポリプロ綿等の OEM 中心に増収となりました。金属繊維は前年並みでしたが、カーボン繊維の加工については増収となりました。

この結果、インテリア産業資材事業全体としましては、売上高 4,356 百万円（同 1.7%増）となりました。

非繊維事業

半導体部門は、主力の電動工具用のモジュール品が、原材料高騰の影響を受け減収となりました。その他の応用製品は、売上は計画どおり推移しましたが、新規商品の立ち上げの遅れもあり、減収となりました。

ファインケミカル部門は、製造販売子会社である大阪新薬株式会社において、隣接する不二興産株式会社小野田工場を昨年 4 月に譲受、統合した結果、事業の拡大および生産能力の増強が実現し、増収となりました。

不動産部門は、事務所賃貸は入居率の維持に努めた結果、昨年並みに推移いたしました。店舗賃貸は、三重県四日市市等のショッピングセンターで賃料の値下げがあったものの、昨年暮れに新規オープンした店舗があり増収となりました。

自動車教習部門では、少子化による入校生の減少に加え、ガソリン価格高騰などによる自動車離れの影響もあって減収となりました。

この結果、非繊維事業全体としましては、売上高 1,958 百万円（同 4.5%増）となりました。

中間連結貸借対照表 (平成20年6月30日現在)

(単位：百万円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	11,384	流動負債	10,592
現金及び預金	2,813	支払手形及び買掛金	1,561
受取手形及び売掛金	3,877	短期借入金	7,336
たな卸資産	4,528	1年以内償還予定の社債	360
その他	186	未払法人税等	41
貸倒引当金	△21	その他	1,293
固定資産	25,751	固定負債	18,174
有形固定資産	23,116	社債	1,630
建物及び構築物	3,870	長期借入金	6,152
土地	18,069	繰延税金負債	6,047
その他	1,176	退職給付引当金	1,124
無形固定資産	120	長期預り敷金・保証金	2,906
その他	120	その他	311
投資その他の資産	2,514	負債合計	28,766
投資有価証券	1,971	純資産の部	
その他	1,033	株主資本	7,469
貸倒引当金	△114	資本金	3,439
投資損失引当金	△376	資本剰余金	3,069
		利益剰余金	972
		自己株式	△11
		評価・換算差額等	519
		その他有価証券評価差額金	432
		繰延ヘッジ損益	△75
		為替換算調整勘定	162
		少数株主持分	379
		純資産合計	8,368
資産合計	37,135	負債純資産合計	37,135

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結損益計算書 (平成20年1月1日から平成20年6月30日まで)

(単位：百万円)

科 目	金 額
売 上 高	11,187
売 上 原 価	9,124
売 上 総 利 益	2,063
販売費及び一般管理費	1,504
営 業 利 益	559
営 業 外 収 益	60
受 取 利 息	5
受 取 配 当 金	25
そ の 他	29
営 業 外 費 用	254
支 払 利 息	188
持分法による投資損失	10
為 替 差 損	7
投資有価証券償還損	1
そ の 他	47
経 常 利 益	365
特 別 利 益	54
固 定 資 産 売 却 益	16
投資有価証券売却益	21
貸 倒 引 当 金 戻 入	3
受 取 損 害 賠 償 金	13
特 別 損 失	1
固 定 資 産 処 分 損	0
投資有価証券売却損	0
税金等調整前中間純利益	419
法人税、住民税及び事業税	31
法 人 税 等 調 整 額	△ 1
少 数 株 主 利 益	△ 0
中 間 純 利 益	389

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結株主資本等変動計算書 (平成20年1月1日から平成20年6月30日まで)

(単位：百万円)

	株 主 資 本				
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計
平成19年12月31日 残高	3,439	3,069	726	△ 11	7,224
中間連結会計期間中の 変 動 額					
剰 余 金 の 配 当			△ 143		△ 143
中 間 純 利 益			389		389
自 己 株 式 の 取 得				△ 0	△ 0
株主資本以外の項目の 中間連結会計期間中の 変 動 額 (純 額)					
中間連結会計期間中の 変動額合計	—	—	245	△ 0	245
平成20年6月30日 残高	3,439	3,069	972	△ 11	7,469

	評 価 ・ 換 算 差 額 等				少数 株主 持分	純資産 合計
	その他 有価証券 評価 差額金	繰延 ヘッジ 損益	為替 換算 調整 勘定	評価・ 換算 差額等 合計		
平成19年12月31日 残高	546	△ 7	188	726	385	8,336
中間連結会計期間中の 変 動 額						
剰 余 金 の 配 当						△ 143
中 間 純 利 益						389
自 己 株 式 の 取 得						△ 0
株主資本以外の項目の 中間連結会計期間中の 変 動 額 (純 額)	△ 114	△ 67	△ 25	△ 207	△ 6	△ 213
中間連結会計期間中の 変動額合計	△ 114	△ 67	△ 25	△ 207	△ 6	31
平成20年6月30日 残高	432	△ 75	162	519	379	8,368

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書 (平成20年1月1日から平成20年6月30日まで)

(単位：百万円)

科 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 69
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 339
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,099
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 6
現金及び現金同等物の増加額	684
現金及び現金同等物の期首残高	2,110
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,795

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間貸借対照表 (平成20年6月30日現在)

(単位：百万円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	6,181	流動負債	8,624
現金及び預金	2,308	買掛金	305
受取手形	997	短期借入金	7,242
売掛金	476	1年以内償還予定の社債	360
たな卸資産	256	未払法人税等	13
関係会社短期貸付金	2,092	預り敷金・保証金	342
その他	73	その他	359
貸倒引当金	△23	固定負債	14,120
固定資産	23,807	社債	1,630
有形固定資産	13,693	長期借入金	5,902
建物	2,468	繰延税金負債	3,517
土地	11,030	退職給付引当金	197
その他	193	長期預り敷金・保証金	2,829
無形固定資産	102	その他	43
投資その他の資産	10,011	負債合計	22,744
投資有価証券	2,010	純資産の部	
関係会社株式	6,548	株主資本	6,887
関係会社長期貸付金	1,556	資本金	3,439
その他	355	資本剰余金	3,068
貸倒引当金	△177	資本準備金	1,566
投資損失引当金	△282	その他資本剰余金	1,502
		利益剰余金	391
		その他利益剰余金	391
		自己株式	△11
		評価・換算差額等	356
		その他有価証券評価差額金	432
		繰延ヘッジ損益	△75
		純資産合計	7,244
資産合計	29,988	負債純資産合計	29,988

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間損益計算書 (平成20年1月1日から 平成20年6月30日まで)

(単位：百万円)

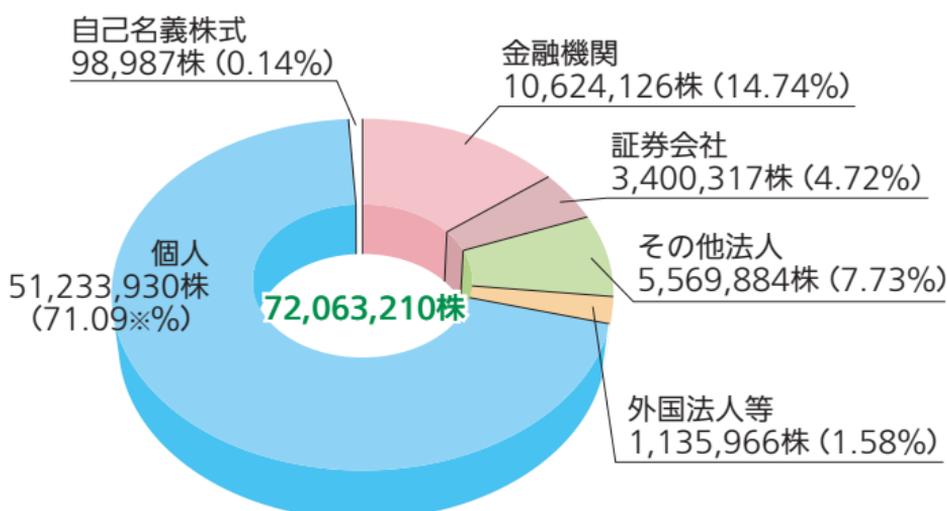
科 目	金 額
営 業 収 益	1,731
営 業 費 用	1,477
売 上 原 価	905
不 動 産 賃 貸 原 価 等	199
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	372
営 業 利 益	253
営 業 外 収 益	95
営 業 外 費 用	208
経 常 利 益	141
特 別 利 益	149
特 別 損 失	4
税 引 前 中 間 純 利 益	286
法人税、住民税及び事業税	10
法人税等調整額	△1
中 間 純 利 益	278

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

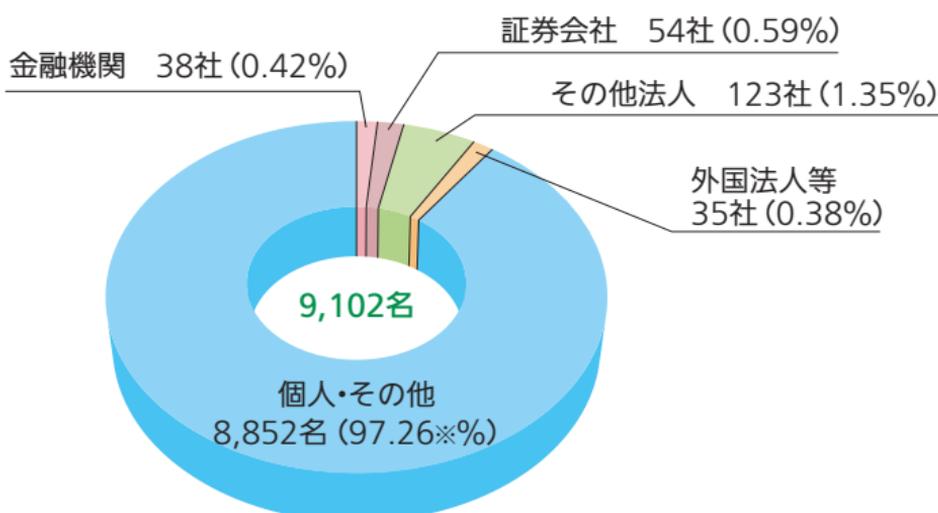
株式の状況 (平成20年6月30日現在)

■ 会社が発行する株式の総数	
普通株式	143,000,000株
■ 発行済株式の総数	
普通株式	72,063,210株
■ 資本金	3,439,000,000円
■ 平成20年6月末株主数	9,102名

所有者別株式構成比



所有者別株主構成比



※は、百分率の補正を表しております。

役員 (平成20年6月30日現在)

代表取締役社長	谷	賀寿則
取締役	森川	正生
取締役	長谷川	正
取締役	長井	渡
取締役	米田	文隆
常勤監査役	森本	健三
※監査役	南川	宣久
※監査役	高島	志郎

※印は社外監査役であります。

会社の概要

設立年月	平成15年6月12日 (創業 大正11年2月)
資本金	3,439,000,000円
主要な事業内容	半導体、ファインケミカルの製造販売および不動産賃貸 各種繊維製品の製造加工販売を行う子会社の経営管理
事業所	本社 大阪市中央区瓦町三丁目1番4号 東京支店 東京都中央区日本橋小伝馬町14番7号 アクサ小伝馬町ビル4階 大阪事業所 大阪府泉大津市虫取町一丁目1番12号
土地	3,676,806㎡
建物	72,816㎡
従業員数	46名
ホームページ	URL: http://www.toabo.co.jp/
証券取引コード	3204
決算月	12月31日

主な子会社

■東亜紡織株式会社

設立年月	昭和48年5月28日（商号変更 平成15年10月1日）		
資本金	250,000,000円		
主要な事業内容	梳毛織糸、梳毛ニット系、合織糸、毛織物、ジャージ		
事業所	本社	大阪市中央区瓦町三丁目1番4号	
	東京支店	東京都中央区日本橋小伝馬町14番7号 アクサ小伝馬町ビル4階	
	津島事務所	愛知県愛西市立田町前田面2番地1	
	一宮事務所	愛知県一宮市栄一丁目8番12号 一宮栄ビル3階	
	宮崎工場	宮崎県都城市高城町大井手2050番地1	
設備	梳毛式紡績	精紡機	19,196錠
従業員数	113名		

■トーア紡マテリアル株式会社

設立年月	平成12年12月8日（商号変更 平成15年10月1日）		
資本金	100,000,000円		
主要な事業内容	タフトカーペット、ニードルパンチ、ロックタフト、ポリプロファイバー、タイルカーペット		
事業所	本社	大阪市中央区瓦町三丁目1番4号	
	本社工場	三重県四日市市楠町南川150番地	
	東京支店	東京都中央区日本橋小伝馬町14番7号 アクサ小伝馬町ビル4階	
設備	カーペット	タフト式	11セット
	不織布	ニードルパンチ式機	3セット
		ロックタフト製造設備	1セット
	合成繊維	紡糸設備	10トン/日
	ファイバーマット製造設備		1セット
従業員数	135名		

関連会社

社名	事業内容	資本金	従業員数
(株)トーアアパレル	学生服、企業ユニフォームの製造	百万円 90	37名
大阪新薬(株)	医薬品・化学品の中間体の製造販売等	45	27
(株)トーアリビング	寝装品の販売	30	4
(株)トーア自動車学校	自動車教習事業	10	35
広州東富井特種紡織品有限公司	産業資材用製品の生産加工販売	千US\$ 3,000	1
無錫東亜毛紡織有限公司	梳毛糸の製造販売	千US\$ 7,227	63
トーアニット(株)	ニット製品の製造販売	10	26

株式のご案内

事業年度	1月1日から12月31日まで
基準日	定時株主総会 12月31日 剰余金の配当 期末12月31日 中間 6月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務所取扱場所 (お問い合わせ先)	大阪市北区堂島浜一丁目1番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話 大阪 0120-094-777 (フリーダイヤル)
同 取 次 所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店 野村證券株式会社 全国本支店 なお、株式関係のお手続き用紙のご請求は、以下の三菱UFJ信託銀行の電話およびインターネットでも24時間承っております。 電話 (フリーダイヤル) 0120-244-479 (本店証券代行部) 0120-684-479 (大阪証券代行部) インターネットホームページ http://www.tr.mufg.jp/daikou/
公 告 方 法	電子公告 当社ホームページ http://www.toabo.co.jp/
単 元 株 式 数	1,000株
証 券 コ ー ド	3204

株式に関するお手続きについて

当社の株式に関するお手続きは、上記株主名簿管理人事務取扱場所までお問合せください。なお、各種お手続き用紙は下記三菱UFJ信託銀行株式会社のホームページまたはお電話にてご請求いただけます。

URL : <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

電話 : 0120-244-479 (本店証券代行部)

0120-684-479 (大阪証券代行部)

なお、証券保管振替制度をご利用されている株主様は、お取引の証券会社にご相談ください。

TOABO

株券の電子化について

2009年（平成21年）1月から株券の電子化（ペーパーレス化）が実施される予定です。これに伴い、現在発行されている株券は無効となりますが、株主様のお名前が株主名簿に記載されている限り、株主様としての権利は従来と同様に保護されます。

現在、証券保管振替機構をご利用ではなく、お手元に株券をお持ちの株主様は、株券が株主様ご自身の名義になっていることをご確認のうえ、名義が異なる場合は、名義書換手続きを行っていただきます様、お願いいたします。名義が異なったままで、株券の電子化が実施されますと、株主様としての権利を失う可能性があります。



環境に配慮して大豆油
インキで印刷しています。



この冊子はユニバーサルデザイン(UD)書体
を使用し、弱視・老眼等視力の低下にお悩み
の方にも読みやすいよう配慮をしています。